

# 城南保健生活協同組合

## 第35回 通常総代会

### 2009年度活動のまとめ(案)

#### ● 第1号議案 ●

#### はじめに

2009年度は激変の一年でした。一昨年9月、アメリカで起きたサブプライムローンの崩壊、リーマンショック以降、日本経済ももろに影響を受け、金融危機、デフレとなり、空前の利益をあげている大企業が次々に派遣社員を解雇したため失業者が街にあふれ、町工場では仕事がない状況が続いています。昨年8月の総選挙では国民の怒りが爆発し、自公政権を退場に追い込むという歴史的な出来事がありました。政権を変えたいという国民の願いは実現したものの、鳩山政権は後期高齢者医療制度の廃止や沖縄の米軍基地の移転など、選挙公約そのものも守らないなど、憲法・平和・社会保障など、運動の盛り上げが求められています。城南保健生協は2009年1月に念願であった2ヶ所目のグループホームを開設し、職員体制も確立しながら安心・安全・信頼の施設運営に努め、介護事業をはじめとして薬局運営、健康づくり・まちづくり運動を着実にすすめてきました。

歴史的な政権交代はありましたが、一向に雇用確保や格差是正はすすまず、12年連続で3万人以上の自殺が続くなかで、大田病院付属大森中診療所における週3回の「よろず相談」や街頭での「なんでも相談会」などでは生活困難な方や労働災害、アスベスト被害などの相談に応え、生活保護申請などに行き届くなどして援助してきました。私たちは、介護事業や薬局運営などの事業活動を展開しながら、区民の立場で後期高齢者医療制度の廃止、医療・介護保険の制度改善・減免実施、区民健診の充実などの運動にも取り組んできました。今後も「安心して住み続けられるまちづくり」「地域・職域まるごと健康づくり」において、いっそう頼りにされる存在でありたいと願っています。



定例の蒲田駅西口健康相談会

ました。大田・品川の社会保障推進協議会や多くの団体と共同の行動が拡がりました。その中で「後期高齢者医療制度」学習会も開催し、多くの方が参加しました。政権与党は、後期高齢者医療制度はすぐに廃止ではなく、「4年後に新しい制度に変える」と言っています。選挙前の公約では「即時廃止」と言っており、「75歳で人を区別する信じられない発想」(鳩山由紀夫首相)の制度は、一刻も早く廃止するのが筋です。今後改めて「廃止」に向けた運動が大切です。原水爆禁止世界大会(長崎)に今年も3名の代表を送りました。2月のバレンタイン行動や、蒲田駅での「健康相談会」等も予定しましたが、今年は悪天候の日が多く、残念ながら中止となりました。

#### 文化・スポーツの活動

行事としては、ウォークラリー(2回)、バスハイク(2回)、健康まつり、新春鎌倉ハイキング、ダンスパーティー、駅伝大会に取り組みました。昨年までのジョギング大会を見直して、今年は新たに駅伝大会として、募集の対象も東京と神奈川の日生協加盟の各単協の組合員さん及び民医連職員・家族としました。エントリーは36チーム144人でしたが、当日は雨によるコースコンディションの悪化と低温の為に中止となってしまいました。

春のバスハイクは房総方面で、195名の参加(バス6台)。秋のバスハイクは一泊で会津芦の牧温泉で参加者は80名でした。一泊のバスハイクは久々の取り組みでしたが、部屋割りや交流会の内容等の細かい点での課題が浮き彫りになりました、今後の検討課題です。ウォークラリーは2回行いました。5月のウォークラリーは品川東部の歴史散策で12人の参加、10月のウォークラリーは大田区の呑川散策で16人の参加でした。

新春鎌倉ハイキングは、今年はコースを変えて源氏山〜大仏山ハイキングコースを歩きました。38人の参加でした。ダンスパーティーは今年も新春ダンスパーティーとして1月に行いました。初心者の方でも楽しめるように開会前にミニ講習会を行いました。59人の参加でした。

大田品川健康まつりは今年も実行委員会事務局として参加しました。当日はあいにくの空模様となりましたが、出



新春鎌倉ハイキング

#### 2009年度活動の特徴

1 大森中診療所で週3日行っている「よろず相談」は深刻な不況の影響もあり、毎月20件ほどの相談があります。この中から生活保護受給となる事例が多くあり、日本生協連医療部会がすすめている「いのちの大運動」の実践としても、重要な役割を果たしてきました。

2 大田病院の改築第1期工事が終わり、5月1日から本館がオープンしました。差額ベッドのない安心して入院できる医療機関です。昨年7月からは経済的に困難な人への無料低額診療事業も開始されています。「MRI券金・基金を贈る会」の活動でも積極的な役割を果たしました。

3 仲間増やしの活動では、10月からの強化月間に先立ち「三法人活動交流会」を開催するなど、事前準備と相互理解を深めることに努力してきました。月間では大田病院のリニューアルオープンに向けて訪問と対話を重視し、目標700に対して、537人(77%)の到達となりました。

4 認知症対応のグループホームは2カ所、3ユニット、27人の定員になりました。入居一時金なし、生活保護の方も入居できる大田区で



第1回活動交流会

店した模擬店数は58店で来場者は約2800人でした。

#### 介護・調剤・事業活動

##### ●ヘルパーステーション すずらん

2009年度は介護報酬3%アップ 介護職員処遇改善交付金などの反映もあり、経営的には何とか維持できました。訪問介護は利用者の施設入所、永眠などで大きく変動があり、年間を通して安定した件数や時間を確保することは困難です。この間、要介護から要支援になる人が増え、サービスが減らされています。さらに、病院の早期退院から医療依存度が高く重症化した人や介護力が不十分など、問題の多い方が増えています。技術的な向上やケアマネージャー、包括支援センターなどとの連携を密に行うことが、今まで以上に求められてきました。法令順守、感染対策や教育委員会などの委員会活動も活発化し、サービスの質向上にも取り組んできました。

2009年度は特に「輝き事例」など、各事業所でまとめたきましたが、グループホームも含めた介護職全体で発表交流するなど、お互いを深め合っています。介護職は働き甲斐があり楽しさを感じて働いていますが、絶対的な人手不足や職員の高齢化も問題になっており、人の確保と計画的な後継者の育成は大きな課題です。最も利用者のそばにいる私たちが、現場から制度見直しの声を上げていけたらと思います。

##### ●居宅支援事業

ゆたか調剤薬局の居宅支援事業所を廃止したため、すずらん(平和島)1カ所となりました。在宅では重症化や困難な方が増えています。利用者の生活実態を深く捉え、必要な介護サービスが提供できるケアプラン作成のために、しっかりした眼と構えが必要です。ケースカンファランスや行政の研修会など保障しあい、積極的に学び情報共有しあっています。2010年度は今後の居宅支援事業のあり方を検討する年です。

##### ●ゆたか調剤薬局

今年度は管理薬剤師の退職があり、スムーズな引き継ぎと新体制の安定を図ってきました。下期は不安定な体制となってしまいました。中でも、訪問服薬指導の件数を増やし、患者様への服薬指導には力を入れてきました。定期的な季刊紙の発行と来年度から6年制になった薬学生の実習受け入れ薬局となっているため、その準備と学習会も行ってきました。来年度は診療報酬改定があり、薬価引き下げで大幅な減収になりますが、在庫管理の徹底と充実した服薬指導を目指して、皆様から信頼される薬局づくりをしていきます。

##### ●グループホーム・虹の家

「虹の家みちづか」は開設から6年、「しおかぜ」は1年が経過しました。この間、入居者の長期入院や交替などもありましたが、安心・安全・信頼の家づくりをめざして第三者評価を受審しました。職員体制も「チャレンジ介護」



保育園との交流会

は貴重な高齢者施設です。虹の家・しおかぜは開設から1年が経過し、地域の方からの期待と信頼に応えるべく、第三者評価の受審や運営推進会議の定期開催、保育園との交流などに努めてきました。虹の家みちづかは、丸6年が経過し、あたらしい施設長のもと、楽しく暮らせる家づくりに努めてきました。

5 認知症対応のグループホームを運営し、認知症の方たちを地域で支える立場から、大田区・品川区の協力も得て認知症サポーター養成講座を開催してきました。城南保健生協職員のキャラバンメイトも4人おり、講師を担当したり、積極的な役割を果たしました。認知症は2035年には現在の倍の400万人になるとの推計もあり、今後も「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」は重要なテーマです。

6 ヘルパーステーションすずらんは事業の安定化、拡大をめざして若手職員の確保をすすめてきました。ハローワークの協力も得ながら全般的な募集活動を強めてきましたが、すべての事業所で複数の常勤体制を確保することができませんでした。また、すずらんうのきを登録事業所にする課題は継続となっています。2009年度は雇用創出の一環として、介護経験のない人達への「チャレンジ介護」が開始され、



ヘルパー交流会

の職員の受け入れなども行い、若返りをはかってきました。季節ごとの行事やお花見、敬老会など、近隣の方々、町会、民生委員、保育園、ボランティアとの交流もさらに拡がり、運営推進会議も定期開催に努めてきました。

##### ●本部・事務局

春・秋のバスハイク、ウォークラリー、ダンスパーティー、鎌倉ハイキングなど、各種イベントの成功、助け合いの会「たんぼぼ」の活動、各支部活動の支援、反核平和・社保・保健教育・助け合いまちづくり・機関紙などの委員会活動の事務局、健康まつりの事務局など、様々な課題に取り組み前進させてきました。第1回早春駅伝大会は悪天候によるコースコンディション不良のため中止せざるをえませんでした。映画「せんせい」上映運動の事務局、社会保障の活動分野でも大田区、品川区の地域社協の事務局を担ってきました。

総代会に向けて大いに議論していただき、前進を確認して確信にすると同時に、次年度に取り組むべき課題を明確にしていきたいと思います。

##### <機関紙活動>

- 年間10回の定期発行と内容充実にも努めてきました。編集委員会を毎月定例で開催し、より充実した紙面にしていく旨、話し合いをしてきました。
- 一面は大きな取り組みの報告、二面は支部の報告、三面は医療記事や事業所の案内、四面は行事の報告や案内を中心に載せています。

#### 【各支部の報告と方針】

総代会に向けて各支部で検討中です。

《経営改善の取り組み》(経営実績と予算の詳細は別紙提案)

決算終了後文章化します。

《仲間増やし・班会開催などの組織運営》

3月までの到達は表の通りです。

#### 生協組合員拡大実績(3月まで)

支部	拡大目標	拡大実績	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	60	28	46.7%	32	-4	87.5%
品川	5	1	20.0%	0	1	-
海岸八潮	20	11	55.0%	7	4	157.1%
ゆたか	75	76	101.3%	33	43	230.3%
大井	10	2	20.0%	6	-4	33.3%
中延	40	23	57.5%	33	-10	69.7%
小山	10	1	10.0%	5	-4	20.0%
六郷	75	59	78.7%	16	43	368.8%
羽田	10	8	80.0%	8	0	100.0%
蒲田西	5	6	120.0%	5	1	120.0%
馬込	30	32	106.7%	16	16	200.0%
池上	10	1	10.0%	6	-5	16.7%
うのき	70	49	70.0%	47	2	104.3%
大森糞谷	220	191	86.8%	123	68	155.3%
大森西北	60	49	81.7%	48	1	102.1%
全体合計	700	537	76.7%	385	152	139.5%

すずらんや虹の家での職員確保に貢献しました。また、10月からは「介護職員処遇改善交付金」が新設され、すずらんの正規職員確保、介護職員の処遇改善を実施してきました。

7 オバマ大統領のプラハ演説以降、核兵器廃絶は大きなうねりとなりました。今年5月には国連でのNPT(核不拡散条約)再検討会議が開かれ、日本からも被爆者、核兵器廃絶運動団体の代表者などがたくさん参加します。城南保健生協としても、日常的な6・9行動への参加とあわせ、原水爆禁止世界大会(長崎)に3名の代表を送るとともに、長崎で被爆し白血病でなくなった先生を描いた、映画「せんせい」の上映会の事務局として運動を支援してきました。

8 年間を通じての青空健康相談会や商店街での健康相談会、品川(7回目)・大田(25回目)での健康まつり、さまざまなイベントでの健康チェックなどで奮闘してきました。健康運動サポーター養成講座およびフォローアップ研修、わくわくヘルスチャレンジなどにも取り組んできました。「ころばん体操講座」も引き続き開始され、地域・職域まるごと健康づくり運動がすすんでいます。



ころばん夏祭り健康チェック

#### 2009年度「主要行事」の取り組み

春のバスハイク	4月12日(日)	南房総	205人
保健特別講座「心の病」	5月9日(土)	大田生活センター	50人
春のウォークラリー	5月10日(日)	品川東部	12人
認知症サポーター養成講座	5月16日(土)	ゆたか診	36人
第7回品川健康まつり	5月23日(土)	戸越公園	850人
介護保険学習会+個別相談会3団体共催	5月30日(土)	池上会館	59人
第6回健康講座「認知症の予防(大友医師)」	6月6日(土)	品川中小企業	147人
全日本民医連第10回共同組織活動交流会	6月21日(日)~22日(月)	長崎	
全国鶴の木まつり	7月25日(土)	うのき地域	
ドルフィン第26回海の会	7月26日(日)~27日(月)	大浦海岸	70人
原水爆禁止世界大会長崎大会	8月7日(金)~9日(日)	長崎 生協から3名	
認知症学習会3団体共催	8月28日(金)	池上会館	39人
第3回ボランティア学校	9月5日(土) 26日(土)	三ツ木診	12人
みちづか敬老会	9月14日(月)	みちづか	
しおかぜ敬老会	9月15日(火)	しおかぜ	
ヘルパー全体交流会	9月17日(木)	大田生活センター	74人
生協組合員活動と医療・介護活動交流会	9月19日(土)	大田生活センター	120人
第3回わくわくヘルスチャレンジ	10月1日~11月30日	70人が参加	
秋のウォークラリー	10月4日(日)	大岡山・蒲田	17人
第25回大田・品川健康まつり	10月25日(日)	丸子橋緑地	2800人
秋のバス旅行	11月29日(日)~30日(月)	会津芦の牧温泉	80人
第27回新春ダンスパーティー	1月15日(金)	大田文化の森	59人
新春鎌倉ハイキング	1月17日(日)	38人が参加	
いのちの大運動とことん全国交流会	3月1日(月)~2日(火)	熱海	
第1回駅伝大会	3月7日(日)	36組144人がエントリーするも悪天候中止	
知って活かそう、うつ病の話(樋口医師)	3月13日(土)	品川中小企業	101人
映画「せんせい」上映会	3月25日(木)	大田区民プラザ	600人

この他、各地域で「青空健康相談会」「新春のつどい」「学習会」「バザー」など多彩に取り組まれました。

#### 班会開催実績(3月まで)

支部	班会目標	班会開催	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	30	38	126.7%	41	-3	92.7%
品川	5	0	0.0%	0	0	-
海岸八潮	40	74	185.0%	64	10	115.6%
ゆたか	180	194	107.8%	225	-31	86.2%
大井	20	11	55.0%	7	4	157.1%
中延	90	60	66.7%	57	3	105.3%
小山	5	1	20.0%	0	1	-
六郷	50	41	82.0%	43	-2	95.3%
羽田	20	49	245.0%	6	43	816.7%
蒲田西	10	12	120.0%	11	1	109.1%
馬込	40	30	75.0%	33	-3	90.9%
池上	20	10	50.0%	11	-1	90.9%
うのき	50	41	82.0%	10	31	410.0%
大森糞谷	140	117	83.6%	128	-11	91.4%
大森西北	40	50	125.0%	31	19	161.3%
全体合計	740	728	98.4%	667	61	109.1%

#### 保健予防・健康づくり活動

保健活動の担い手づくりでは、第6回健康運動サポーター養成講座(5月~6月)にとりくみました。さらに、これまでの修了生をレベルアップさせるための講座を、修了生もまじえた実行委員会での内容の検討を始めています。また、久々に保健特別講座「心の病~若者から高齢者まで~」(5月)を行い、41名が参加しました。六郷地域の開業医の方を講師に招き、つながりができたことで、心の健康づくりの面でもネットワークをつくる契機にしていけることができます。活動の基礎となる班会については、昨年同様、大森糞谷支部が活発な班会を行い、支部活動の活性化、各種イベントのとりくみなどに発展しています。また、ゆたかの家の多彩な班会、各地域での健康体操班会が目立っています。今年も健康な生活習慣を日常の中楽しく定着させるための「わくわくヘルスチャレンジ」(10月~11月)にとりくみ、前年を上回る70名が申し込み、当面の目標である3ケタの参加者まであと少しと迫りました。



第7回健康講座

#### 助け合い・まちづくり活動

定例の委員会は毎月開催。3回目となる「ボランティア学校」の企画を9月と10月に大田と品川で開催しました。今回のテーマは介護。認知症の予防を含めた介護の基礎知識を認知症に対する福祉の現状やサービスの事例を取り上げながら学習。また、実習として車いすの操作の方法と受講生が高齢者疑似体験キットをつけて実際に町を歩いてみるなどしました。さらに今回はグループホームの取り組みを紹介しました。

これからも助け合い・まちづくりにつながる学習会を開催していきます。安心して暮らせるまちづくり運動をすすめていきます。

#### 社保・平和の活動

今年「後期高齢者医療制度」の廃止を求める運動が大きく拡がり